

認知機能改善

プログラム

介護現場で効果があった！
ご利用者に大好評！

全国の事業所で行われているさまざまな活動プログラムを紹介します。

課題を追加していく「音読」^{おん どもく}



情報提供：昭島市高齢者在宅サービスセンター愛全園様

用意するもの

単語や文章などを書いた模造紙

※濁音のある文にする。濁音には○を付けておく。参加者に合わせて難易度を変える。季節に合ったものや、なじみのあるものが良い。

簡単

こ(○)ものひ(単語)

こ(○)ものひのこ(○)い(○)の(○)ぼ(○)り(短文)

わ(○)が(○)はい(○)は(○)ね(○)こ(○)で(○)ある
な(○)ま(○)え(○)は(○)ま(○)だ(○)ない(長文)

難しい

行うときの注意点

プログラムを成功させるには、スタッフの声かけがとても重要！



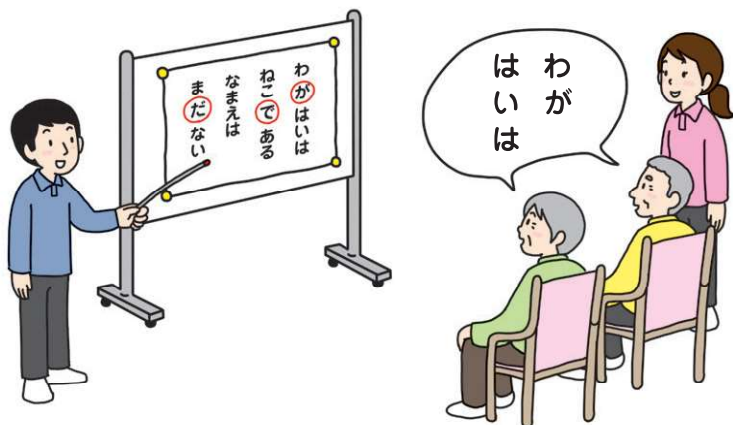
司会



スタッフ

プログラムを進行する司会1名と、ご利用者と一緒にいるスタッフ1名を配置。ご利用者に目的意識を持ってもらうために、司会は「間違えても構わないので、一生懸命に脳を使って考えることが大切です」と伝える。

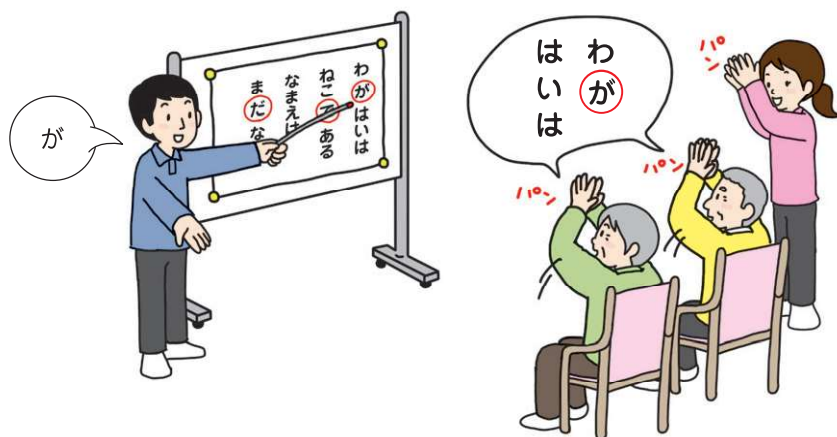
1 全員で模造紙に書かれた文章を読む



POINT

読み終わったらみんなで拍手をし、司会は「いい声ですね」「大きな声が出ていますね」などと声を掛けて盛り上げましょう。

2 文章を読み上げながら、濁点の文字のところで手をたたく



POINT

手は頭の上でたたきましょう。司会は手をたたくところで合図をしましょう。

3 2を行いながら、全部で何回手をたたいたかを頭の中で数えてもらう

「全部で何回たたきましたか？」と尋ね、それぞれ答えた回数が違ったら、「あれ？いろいろな答えが聞こえてきましたね。でも、これは考えているときに頭が働いているので、答えが違っていてもいいんですよ」と伝え、プログラムの目的を確認します。正解を伝え、最後は「皆さんに拍手！」と言って全員で拍手をし、連帯感を味わってもらいます。

POINT

ご自宅でも訓練できるようにYouTubeで「脳も鍛える指体操」などを紹介しています。ご家族と一緒に取り組めると好評です。



担当スタッフの声

日に数回、活動の合間に行うと効果的!

歩行練習後や体操の導入前など、活動の合間に短時間で楽しみながら訓練を行うことで、ご利用者同士の会話が増え、笑顔が多く見られるようになりました。また、待ち時間に居眠りをするご利用者がいなくなり、次の活動に移行しやすくなりました。

MMSEの点数も1年間で平均15.9点から16.9点へと改善がみられています。

